

# 大原庁舎等(多機能複合施設)整備事業の進捗状況についてお知らせします

## 大原庁舎等(多機能複合施設)の整備に係る考え方

大原庁舎を“住民サービスの中心”と位置づけ、各島の出張所機能と連携したネットワーク構築による住民サービスを担う拠点施設として役割を果たすための施設整備に取り組んでいます。また、竹富町の自然・歴史・文化の継承・保存及びそれらを活用した町民意識の高揚と住民の学習機能と観光交流機能を備えた観光客等の満足度向上を図るため、博物館、町民ホール、世界遺産センターの整備に向けて取り組んでいます。これらの施設整備費用は、国の沖縄振興予算(8割補助)の沖縄振興特別推進交付金(一括交付金)、沖縄振興特定事業推進費等を活用して整備する予定です。

## 多機能型複合施設の規模及び整備費について

①博物館(図書室含む)	3,204,936千円(税込)	2,280㎡
②町民ホール	1,255,002千円(税込)	845㎡
③世界遺産センター	1,003,777千円(税込)	930㎡
合計	5,463,715千円(税込)	4,055㎡

※規模・費用については、今後の検討において変動する可能性があります。

それぞれの施設は、現時点で沖縄振興予算(8割補助)の補助金が採択されています。その他(2割)は有効な起債メニュー等を活用します。

※大原庁舎(行政機能)の規模及び整備費用については、各島の出張所機能の規模及び整備費用と併せて検討を進めていますので、規模・費用が算出されましたら改めてお知らせいたします。

## 維持管理・運営について

施設整備後の維持管理費については、入館料をはじめふるさと応援基金、町民負担のない法定外普通税(入域料)等の活用を検討しています。また、指定管理者制度や県内外の大手企業による民間資金を活用した施設の維持管理・運営方法を検討しています。

### ～施設イメージ～



### <博物館>

町民の自然・歴史・文化の継承・保存・学習の場とする。

### <町民ホール>

町内の古謡発表や芸能発表、学習発表会など町民の交流の場として整備します。

### <世界遺産センター>

西表島における世界自然遺産の魅力を分かりやすく伝え、その価値を保全する取組を実施する。

### <大原新庁舎>

執務機能、窓口・相談機能、防災機能、遺体安置機能、動物病院などを備えた住民サービスの中心機能として有効な財源を活用して施設整備に取り組みます。

### <離島振興総合センター>

大原庁舎が完成するまでは仮庁舎として活用します。また、大原庁舎整備後は解体し、跡地利用として地域住民の憩いの場、イベント広場などの整備に取り組みます。